



岡山県最南端 水仙が咲く秘境の山

おいしいやま

大石山 185m

- 距離：約3.5km（一周）
- 歩行時間：約2時間（一周）



島のシンボルである白垂の灯台が建つ秘境の山。円錐形の山容は瀬戸内海を遠望する際の目印となっている。島の灯台は、大正11年（1922年）に岡山県下初の灯台として設置され、島の南側の本線航路を行く船舶の目印となってきた。山頂、6合目などからも瀬戸内海の眺望が楽しめる。1月末～2月末は島の随所でスイセンの花の群生が見られる。もともとは大石山一帯に自生していたのだが、平成5年に六島小学校の児童が登山道の両脇に植え、「水仙の小道」を整備した。

5月末～6月はビワの実が島に彩りを添える。

* 登山道：※周回道路

- ・前浦港～六島灯台～大石山山頂～六島小学校～前浦港のコースがある（小学校から登る逆のコースもある）。灯台から山頂までは、メインの登山道と近道とがある。
- ・住民手づくりの展望台があったが今は老朽化して使用禁止。
- ・標識、案内板あり。
- ・山頂から島北東の湛江港へ降りるコースもある。

* 注意点／アドバイス：

- ・山中にはトイレや山小屋、水飲み場は無く、事前の準備が必要。公衆トイレは六島東側の前浦港にあり。
- ・遊歩道の道中は道幅の狭い場所や滑りやすい場所があるため注意。

* 登山口までのアクセス：

- ・前浦港からスタート。
- ・六島までは笠岡港から定期船が毎日3便運航。約60分。

* 関連行事・イベント：

- ・「日帰り水仙ツアー」開催（1月中旬～2月上旬）

* 周辺情報：

- ・「島小屋（湛江地区：前浦港から徒歩10分程度）」での宿泊可能。
- ・六島東側の前浦港に商店1軒あり。

■ 島のプロフィール

瀬戸内海の重要航路に位置し、県内で最初の灯台が建つ。1～2月には、島内各所に自生するスイセンが景観を彩る。

<周辺位置図>



◆ 「しま山 100 選」とは

(公財) 日本離島センターでは、海に囲まれた島の山々の個性や魅力にスポットをあて、全国の島々を対象に、「しま山 100 選」を選定しました。「しま山」を通じて、訪れる人にも、島の人にも、島の魅力を再発見してもらい、交流の促進につなげていくことがねらいです。

そもそも島とは、海の底から立ち上がった山であり、その姿は高山のような雄大さがありますが、海拔にすれば 1,000 メートル以上のしま山は少なく、体力をあまり気にせずに頂を極める満足感が得られ、一年を通じて楽しめる山が多いことが魅力です。草花や生きもの、地形や地質、全方位のパノラマや多島美、史跡など、しま山ならではの特別な宝物にも出会えるかもしれません。

海を渡ると、そこは島時間。日常からちょっと離れて、島旅・山旅にでかけてみましょう。山から島を眺めれば、島の形や人々のくらしの場、島を囲む美しい海や砂浜、遠くの島々まで見渡すことができ、その島をもっと身近に、もっと好きになれるはずです。



「しま山」登山は、情報集めから

本シートは、各山の魅力をまとめることで、まずは「しま山」や島に興味を持ってもらうことを目的として作成したものです。「しま山」に行くことが決まったら、より詳細な情報を集め、登山計画を立てましょう。

島旅は、季節や天候によって行程などに影響の出やすいものです。事前に、インターネットやガイドブックなどで最新情報を確認するとともに、観光案内所や宿の方などに相談してみるのも、おすすめです。